

ウンム アブドルアズィズ

米国出身の元キリスト教徒 (4/4) : キリスト教からイスラームへの改宗

:

明:彼女は改ざんと なる宗教であるイスラームを通し、神の真の性を理解し、心の平安を得ます。

目:[事新改宗者ムスリムの逸女性](#)

より: ウンム アブドルアズィズ

FB 1 Mar 2014

集日 31 Mar 2014

私には、「なぜあなたはムスリムになってしまったの」といかける人々にして借りがあります。なぜなら、これをなくすることはバイブルの再を助け、去に私が直面していた多くのと、なぜ私がやがてムスリムになったのかという理由を明白にさせたからです。在、ムスリムとしてバイブルをみ直すことによって、そこにあるものへのきを禁じ得ません。私はキリスト教徒としてバイブルのすべての章句をみましたが、その全体としてのメッセージについては全く感知していなかったのです。

私は所「信仰を新たにした」キリスト教徒でした。ある夜、私はに起こされたがしました。それで私は救われ、洗礼を受け、その数年に渡ってに数回、教会での集合礼に参加していました。私は自分の信仰心を加させたかったのです。私には多くの疑がありました。あの救いををした、どうやって答えを探せばよかったのか分かりませんでした。すべての宗派 教派にはなる教えがあります。それらの大半はこえは良かったのですが、バイブルのどこからその教えをいだせるのかと いただいたとき、私を足させるような答えは殆ど ありませんでした。

戚や友人、人たちを通して、なるキリスト教のグループについて知る会もありました。ユダヤ教徒と 神者についても同 です。友人たちを通し、やがて私はカトリック教会に

魅了されるようになりました。その「最古」かつ「元来」の教会であるという判と、神は各人にとってなる存在であるという、一部のおそらく（端的な）宣教による教えも私の味を引きました（つまり、神はあなたが神にどうあってほしいのかということによってなる存在であるということでしょう）。彼らは、ロマの令する教えのすべてを信じずともカトリックになれると私に言いました。

カトリックの信者たちは、私のような「信仰を新たにした」キリスト教徒たちがしたような救をしてはいませんでした。しかし、彼らは各人で「奇」をしていました。あるグループがユゴスラビアに旅し、数の若者たちが母マリアの幻影を定期的に目にしていたのです。その旅路において、私たちの教会に所属していた敬虔な女性のロザリオ数珠の金属のつながりが金にわったり、取材のため彼らと一緒に旅していたプロテスタントのニュースカスタは、母マリア像がするのを目しています。

叔母と叔父をした私は、彼らのプロテスタントの教会に出席したことがあります。私はそこで、戚や同席者たちが文字通り「にり移られた」のを目しました。彼らは彼らの声ではない、何らかの理解出来ない言で叫んでいました。彼らにとって、それは非常に人的かつ人生をえるであったとっています。私は彼らの高い理にしては感心していません。

私はまた、「体外脱」し、肉体を超越して「神」「光」「平安」とひとつになる体をしたというニューエジ集についても耳にしたことがあります。超越体にするいくつかの新刊もを呼びました。

その当、私は人生で初めて何人かのムスリムたちと知り合いになりました。私は彼らから、ろくな装もしていなかったアフガン自由士たちによる抑者ソビエトにする奇的な利のをきました。アフガニスタンにしてのそれらの逸は人的かつ超自然的でもありました。私はそれらをすべて信じることは出来ませんでした。最小限の兵力でアフガン人たちがソビエトを国境から追い出したという事は知っていました。彼らは「ムスリム国家」の立を目指していたのです。

私はこれらのことにして疑を抱き始めました。なった相反する宗教の人々が、なぜそれらのしるしを受けとっていたのでしょうか。神は彼ら一人一人にし、正しい道にしているということを告げていたのでしょうか。

在、私はムスリムとして疑念や混乱とは の生活を送っています。善と の力が「超自然的」な物事を引き起こすことがあることも知っています（バイブルもマタイ24: 24でそう述べています）。善の、魔、 など（ムスリムはそれらを「ジン」と呼びます）の存在は真なのです。ジンとは人と同じように自由意志を持った、なるの被造物です。イスラ ムでは、サタンはジンであるとされ、キリスト教徒によって主されるような墮天使ではないとされます（イスラ ムによれば、天使たちは神に背くことの出来るような自由意志を持たないとされます）。一部のキリスト教徒たちは、バイブルにおいて何度も述べられているにもかかわらず、ジンの存在を否定します（マタイ4: 24、7: 22、8: 28 33、11: 18、12: 28、17: 18、マルコ1: 34、テモテ上4: 1、ヤコブ2: 19、示 18: 2）。目にえない「力」は真であり、それらはクルア ンにおいて私たちの心に「ささやきかける」ことすら出来ると述べられます（クルア ン114: 1 6）。しかし、神は私たちの魂を最善の形によって造され、そこに神への知と善の判断力を与えたのです。また神は、信仰を信することの出来る知性も授けており、真の信仰とは私たちの本的な性、そして知性の双方と和するものです。

神の恩により、イスラ ムは私の心と精神を征服しました。一度、去にんだ道のりに付き、イスラ ムの完全な真性をめると、私は人生に大幅な更を加えなければならないことを信しました。自分の信仰を神にめてもらうには、それに沿った生き方をしなければならいのです。私は心の信が、四肢による行いを支配するようしなければなりません。私は自分の人生、健康、そしてその他すべては神の恩によるものであることを否定することが出来ませんでした。また、神の神格性に他者を付属することも容出来なくなりました。ムスリムの友と地元のモスク（ムスリムの礼の）へ行き、「アッラの他に神はなく、神以外に崇にするものはなく、ムハンマドは神のしもべであり、使徒である」という信仰告白を公に言したのです。

